周産期医療の体制構築に係る指標

			現状			*L/+ D +=
区分		(●:重点指標)	福井県の現状	全国平均	備考	数値目標
低リスク分 娩	プロセス 指標	産後訪問指導を受けた割合 【地域保健・健康増進事業報告】	新生児(未熟児除く)の割合:61.6 未熟児:46.1	新生児(未熟児を除く)の割合:243.1 未熟児:54.1	平成26年 被訪問指導実員数÷ 出生数×1000	_
総合周産期母子医療センター地域周産期母子医療センター低リスク分娩	ストラクチャー指標	産科医および産婦人科医の数	県全体:78人 (15~49歳女性人口10万人対) 48.9	全国:11,085人 (15~49歳女性人口10万人対) 41.0	平成26年 調査	_
		【三師調査】	(出産千対)12.6	(出産千対) 11.0		
		分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦 人科医の数	数(15~49歳女性人口10万人対):31.4	病院:6317.2人 一般診療所:2259.2人 病院に勤務する産科医及び産婦人科医 数(15~49歳女性人口10万人対):23.4 一般診療所に勤務する産科医及び産婦 人科医数(15~49歳女性人口10万人 対):9.5	平成26年 調査	_
		【医療施設調査】				
		日本周産期・新生児医学会専門医数(母 体・胎児専門医数)	県全体:5人 (人口10万人対) 0.6	全国:656人 (人口10万人対)0.5	平成28年10月31日現 在	_
		【日本周産期・新生児医学会】				
		助産師数(常勤換算)		病院勤務:18223.6人 一般診療所勤務:4957.7人 病院勤務(15~49歳女性人口10万人 対):67.4 一般診療所勤務(15~49歳女性人口10	平成26年 調査	_
		【医療施設調査、衛生行政報告例】	万人対):11.5	万人対): 18.3		
		アドバンス助産師数	県全体:28人 (人口10万人対)3.6人	全国:2,614人 (人口10万人対)2.0人	平成29年2月時点	_
		【日本助産評価機構HP】				
		新生児集中ケア認定看護師数	県全体:21人 (人口10万人対)2.7人	全国:372人 (人口10万人対)0.3人	平成29年6月時点	_
		【日本看護協会HP】				
		分娩を取扱う産科又は産婦人科病院数 【医療施設調査】	県全体:9か所 (15〜49歳女性人口10万人対)5.6	国全体:1,055か所 (15~49歳女性人口10万人対)3.9	平成26年 調査	_
		【医療施設調査】				
		分娩を取扱う産科又は産婦人科診療所数【医療施設調査】	県全体:10か所 (15~49歳女性人口10万人対)6.3	国全体:1,563か所 (15~49歳女性人口10万人対)4.8	平成26年 調査	_
		【医療施設調査】				
		分娩を取扱う助産所数 【衛生行政報告例】	県全体:3か所 (15~49歳女性人口10万人対)1.9	全国:408 (15~49歳女性人口10万人対)1.5	平成26年 調査	_
		【医療施設調査】				
		院内助産所数	県全体:1か所 (15~49歳女性人口10万人対)0.6	全国:127か所 (15~49歳女性人口10万人対)0.5	平成26年 調査	_
		【医療施設調査】				
		ハイリスク妊産婦連携指導料1・2届出医 療機関数	4機関 0.5機関/10万人対	874機関 0.7機関/10万人対	令和2年3月 調査	_
		【社会医療診療行為別統計・調査】				

区分		指標 (●:重点指標)	現状	全国平均	備考	数値目標
			福井県の現状			
総合周産期母子医療センター地域周産期母子医療センター 低リスク分娩	プロセス指標	出生率 【人口動態調査】 合計特殊出生率 【人口動態調査】	H26(千人対):7.9 H27(千人対):8.0	H26(千人対):8.0 H27(千人対):8.0	平成27年 調査	_
		低出生体重児出生率(%) 【人口動態調査】	男 : 7.8 女 : 9.6 合計: 8.7	男 : 8.4 女 : 10.6 合計: 9.5	平成27年 調査	_
		● 分娩数(帝王切開件数を含む) (※15~49歳女性人口10万人当たり) 【医療施設調査】	病院での分娩数(10万人対): 195.8 診療所での分娩数(10万人対): 175.1	病院での分娩数(10万人対):171.9 診療所での分娩数(10万人対):143.5	平成26年 調査	_
	アウトカム指標	新生児死亡率【人口動態調査】	死亡数:8人 出生数:6,112人 率(千人対):1.309	死亡数:874人 出生数:976,978人 率(千人対):0.895	平成28年 調査	死亡率 1.0以下
		■ 周産期死亡率【人口動態調査】	合計死亡数:26人 出生数+合計死亡数:6,130人 率(出産千対):4.475(全国39位)	合計死亡数:3,516人 出生数+合計死亡数:979,818人 率(出産千対):3.588	平成28年 調査 合計死亡数:妊娠満 22週以後死亡数と生 後一週間死亡数の合 計	死亡率 4.0以下
		乳児死亡率 【人口動態調査】	死亡数:16人 出生数:6,112人 率(千人対):2.618	死亡数:1,928人 出生数:976,978人 率(千人対):1.973	平成28年 調査	死亡率 2.0以下
		● 妊産婦死亡数・死亡原因 【人口動態調査】	2名 (死亡原因(簡単分類):妊娠、分娩 および産じょく)	全国:902名 主な死亡原因:子宮外妊娠、分娩後出 血等	平成27年中 調査	_
	ストラクチャー 指標	NICUを有する病院数・病床数	病院数:0.24(人口10万人対) 0.32(出生千対) 病床数:2.10(人口10万人対) 2.76(出生千対)	病院数:0.26(人口10万人対) 0.33(出生千対) 病床数:2.38(人口10万人対) 3.04(出生千対)	平成26年中 調査	_
		【医療施設調査、人口動態調査】 NICU専任医師数	専任常勤医師数:12人 (人口10万人対)1.48 専任非常勤医師数(常勤換算):11.0 人	專任常勤医師数(人口10万人対):1.3 專任非常勤医師数(常勤換算)(人口10 万人対):1.1	平成26年 調査	_
		【周産期医療体制調】 GCUを有する病院数・病床数 【医療施設調査、人口動態調査】	(人口10万人対) 1.36 病院数: 0.62 (人口10万人対) 0.81 (出生千対) 病床数: 3.71 (人口10万人対) 4.87 (出生千対)	病院数:0.09(人口10万人対) 0.11(出生千対) 病床数:0.56(人口10万人対) 0.71(出生千対)	平成26年 調査	_
		MFICUを有する病院数・病床数 【医療施設調査、人口動態調査】	病院数:0.25(人口10万人対) 0.32(出産千対) 病床数:1.11(人口10万人対) 1.45(出産千対)	病院数: 0.22(人口10万人対) 0.28(出産千対) 病床数: 3.07(人口10万人対) 3.93(出産千対)	平成26年 調査	_
		ハイリスク分娩管理加算届出医療機関数【診療報酬施設基準】	医療機関数:5	全国:705	平成28年3月時点	_
総合周産期		業務継続計策定医療機関数・策定割合 (総合周産期母子医療センター) 【地域医療課調】	策定医療機関数:2 100%	全国データなし	平成29年6月時点	_
母子 医療セ		● 災害時小児周産期リエゾン任命者数	10名 1.3名/10万人対 令和3年度末	587名 0.5名/10万人対 ※令和3年8月現在	令和3年7月 調査	年2名
センター	プロセス指標	周産期母子医療センターで取り扱う分娩 数 【周産期医療体制調】	福井県:3137.0人 (15~49歳女性人口10万人対)1968.5	全国:227955.6人 (15~49歳女性人口10万人対)843.6	H26 調査	
		NICU入室児数 (人口10万人あたり、出生 1000人あたり) 【医療施設調査】	24.5(人口10万人対) 32.1(出生千対)	53.6 (人口10万人対) 68.6 (出生千対)	H26 調査	_
		NICU長期入院児数 【周産期医療体制調】	福井県:0人	全国平均:13.1人 (人口10万人対)2.3	H26 調査	_
		● 母体・新生児搬送数・都道府県内搬送率 【周産期医療体制調】	母体搬送数:106件 13.7件/10万人対 新生児搬送数:39件 5.0件/10万人対 搬送率:1.0	母体搬送数: 24,522件 19.3/10万人対 新生児搬送数: 16,009件 12.7件/10万人対 搬送率: 1.0	H30 調査	_
		● 母体・新生児搬送数のうち受入困難事例 の件数 【周産期医療体制調】	母体搬送:9件 1.2/10万人対 新生児搬送:4件 0.5/10万人対	母体搬送:5,264件 4.2/10万人対 新生児搬送:1,319件 1.0/10万人対	H30 調査	_
療養· 支援 育	ストラク チャー指 標	乳幼児、小児の在宅医療を行う医療機関数 【福祉行政報告】	県全体:0	国全体:46 (存在する都道府県数:17)	H27 調査	_
	アウトカム 指標	● NICU・GCU長期入院児数(再掲) 【周産期医療体制調】	県全体:0人	全国平均:13.1人 (人口10万人対)2.3	H26 調査	_